

リスクアセスメント実施一覧表（実施記載例）（アーク溶接作業 1）

リスクアセスメント対象職場		①～③の実施担当者の実施日		④～⑥の実施担当者の実施日		⑦～⑧の実施担当者の実施日		社長（工場長）	製造部長	製造課長	
① 作業名 （機種・設備）	② 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害※	③ 既存の災害防止対策	④ リスクの見積り （発生可能性）		⑤ リスク低減措置案	⑥ 措置実施後の リスクの見積り （発生可能性）		⑦ 対応措置 （次年度検討事項）		⑧ 備考	
			重篤度	発生可能性		重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性		
アーク溶接作業	溶接中に発するヒュームの吸入によって、じん肺を発生する。	防じんマスクの着用の徹底 全体換気装置による換気	×	△	①全体換気装置又は局所排気装置の設置及び点検の徹底 ②防じんマスクのフィッティングテストによる漏れの防止 ③防じんマスクの取替え時期を決定	△	○	I	作業前ミーティングで措置の徹底を確認 リスク低減措置を社内標準として明文化する。	残留リスクであり 貼り紙で担当者全員に毎日周知	
アーク溶接作業	成酸ガス(CO <sub>2</sub> )アーク溶接の際に発生する一酸化炭素(CO)の多量の吸入により一酸化炭素中毒を発生する。	全体換気装置による換気	×	△	①局所排気装置の設置 ②狭あい場所では風管換気方式による換気 ③電動ファン付き呼吸用保護具（フェースシールド形）の着用 ④送気マスクの着用	△	○	I	教育の徹底（COの有害性及び発生実態） 作業前ミーティングで措置の徹底を確認		
アーク溶接作業	有害光（紫外線、可視光線、赤外線）により眼障害となる。	溶接用遮光保護面を装着									
アーク溶接作業	スパッタ・スラッグの飛散により火傷する。	溶接用遮光保護面を着用し、眼及び皮膚の露出部をなくす。	△	○	溶接用かわ製保護手袋、保護帽、腕カバー、安全靴等適正な保護具を着用する。	△	○	I	保護具の使用の教育の徹底		
アーク溶接作業	周囲の可燃物（油、木くず、布等）にアーク溶接の火花が飛び火し、火災・爆発を起す。	可燃物を不燃性シートで覆い、近くに消火用繊維材を置く。	×	△	①作業周囲5mは、可燃物の一切を除去 ②高所作業の場合、階下にスパッタ等が落下しないように、不燃性のシートで防護する。 ③消火器、火災感知器等の設置	△	○	I	作業前ミーティングで都度措置の徹底を確認		
アーク溶接作業	溶接機的一次線が床を這っていつまつき負傷する。	一次線は最小限の長さにする。	△	△	一次線をハンガーレールに架ける。	○	○	I			
アーク溶接作業	横倒しで放置しているシールド用ガスボンベにつまずいて転倒する。	ボンベは常に立てて置く。	△	△	ボンベを立てて製作し、倒れ止めチェーンをかけておく。	○	○	I			

災害の重篤度：×＝致命的・重大 △＝中程度 ○＝軽度  
 発生可能性：×＝頻繁・可能性が高いか比較的高い △＝時々・可能性がある ○＝ほとんどない・可能性がほとんどない  
 優先度：III＝直ちに解決すべき又は重大なリスクがある II＝速やかにリスク低減措置を講ずる必要があるリスクがある I＝必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。  
 ※災害に至る経緯として「～なので、～して」+「～になる」と記述